

平成24年 6 月20日

各 位

会社名 株式会社ピーエスシー
代表者名 代表取締役社長 相原 輝夫
(コード番号：3649)
問合せ先 取締役管理部長 藤田 篤
(TEL. 089-947-3388)

新製品及び新オプションのリリースに関するお知らせ

当社は、平成24年 6 月20日付で、平成24年 7 月 1 日より新たに手術管理システム「C-Ope」の販売開始及び医療用データマネジメントシステムClaioの新オプション「C-Nys」の正式リリースを決定いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 新製品名 手術管理システムC-Ope

【新製品の発売経緯と機能内容・特長】

当社は、新製品をラインナップに加え、手術管理システムの販売開始を決定いたしましたのでお知らせいたします。

手術管理システムは、患者の過去の手術履歴や麻酔記録及びそのデータの管理・保存を行うとともに、術中においては、各手術関連機器と連携することで麻酔の量や効果をモニタリングでき、自動保存を行えるなど手術及び麻酔管理を強力にバックアップする製品であります。加えて、手術予定や手術に係る医療設備・スタッフのスケジュール、手術の進行状況及び麻酔記録等の管理も可能であります。

手術は医療において最も安全性を重視される行為の一つであります。当社は、予てより「連携・管理機能に優れたピーエスシー製品を手術管理部門においても利用したい」との要望を多くの医療機関様から受けており、緊密なシステム連携をもって、より安全性の高い医療環境を提供するべく、手術管理システム「C-Ope」を加えた新たなソリューションを展開いたします。

なお、本製品は、既に多数の医療機関で稼働・運用実績を有し、医療現場から高い評価を得たシステムを、著作権や既存ユーザサポート、本製品開発チーム人員の当社への転籍も含め、当社が購入したものであります。

今後は、当社ソリューション群の一製品としての機能強化を図るため、新たな顧客から汲取ったニーズを反映することでさらにブラッシュアップし、バージョンアップも含めた研究開発に鋭意取り組んでまいります。また、当社製品としての販売はもとより、従来どおりOEM製品としての提供も行い、既存の当社製品と高密度の連携をもって、より効果的・効率的な院内データの一元管理ソリューションとして販売展開してまいります。

2. 新オプション名 ビデオ眼振検査・解析支援オプションC-Nys

【新製品の機能内容・特長】

C-Nysは、めまいの診断には欠かせない検査である眼球振盪（眼振）検査において、赤外線CCDカメラを用いたビデオ式眼振検査機器から出力される眼球の動画像の録画・保存を、予め設定した検査順序に自動的にリンクさせ、あるいは必要な種類の検査のみを選択して行うことができるシステムであります。また、眼振における水平・垂直及び回旋の各成分に対する角度と速度を定量的に自動解析し、波形や数値データ、眼振方向をレポートにまとめる機能を有しております。

めまい時の眼球の律動的な異常運動である眼振の種類は、垂直性、水平性及び回旋性をはじめ垂直回旋混合性や水平回旋混合性など様々であり、めまいの的確な診断・治療のためには、眼振検査ならびに定量的な解析結果は必要不可欠であります。

C-Nysは、高レベルでの眼振データ解析を実現することで、臨床におけるめまい診断・治療の発展に大きく寄与し得る製品であると考えております。

3. 業績への影響と今後の見通し

手術管理システムは、その製品の性質上導入までにある程度の期間を要することから、また、C-Nysはその特質上、需要がさほど大きくないことから、共に平成24年12月期の売上高に対する影響は軽微であり、現時点では、平成24年2月14日に発表いたしました「平成23年12月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」に記載の業績予想について変更はありません。なお、今後業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

以 上